



平成27年11月12日

各報道機関 御中

山梨大学 芸術文化推進委員会 主催 演奏会
「ルネサンス 驚きの立体音響ーサンマルコ大聖堂の音楽ー」開催のお知らせ

山梨大学 芸術文化推進委員会では、地域貢献とアートマネジメント人材育成を目的として行っている「山梨大学芸術文化推進事業」の一環として、下記により演奏会「ルネサンス 驚きの立体音響ーサンマルコ大聖堂の音楽ー」を開催致します。

山梨県立の音楽堂「コラニー文化ホール」の中央コンコースをイタリア・ベネツィアにあるサン・マルコ寺院に見立て、400年前ルネサンスの時代に演奏されていた音楽を当時の編成で演奏します。

本学教育人間科学部 大内 邦靖 准教授が指揮を務め、東京からお招きした第一線でご活躍の古楽奏者の方々と本学の教員・学生がコラボして、複合唱様式と呼ばれる生サラウンド音響の演奏をお届けします。2階バルコニーなどにも演奏群を配し、上下左右から聞こえてくる壮麗な音の響きをお楽しみください。

つきましては、本演奏会を多くの方々に知っていただくため、イベント情報欄等でご紹介いただくとともに、当日、取材をしていただきたく、下記の通りご案内いたします。

記

1. 開演日時 : 平成27年12月18日(金) 18:00~18:40(予定)
2. 会場 : コラニー文化ホール ロビー特設会場(甲府市寿町26-1)
3. 料金 : 無料
4. 演奏曲 : ジョヴァンニ・ガブリエーリ作曲
声のマニフィカト「今日キリストはお生まれになった」
クラウディオ・モンテヴェルディ作曲
Vespro ヴェスプロより アヴェ・マリス・ステラ ほか

※ 詳細は別紙チラシをご覧ください。

<p><問い合わせ先> 山梨大学教育人間科学部 准教授 大内 邦靖 Tel : 055-220-8253 (直通) Email : ouchik@yamanashi.ac.jp</p>	<p><広報担当> 山梨大学総務部 総務課 広報グループ Tel. 055-220-8006 (直通) Fax. 055-220-8799</p>
--	---

山梨大学芸術文化推進事業

ルネサンス サン・マルコ大聖堂の音楽 驚きの立体音響

400年前のサラウンド音響が、文化ホールの空間でよみがえります。

ジョヴァンニ・ガブリエーリ作曲
8声のマニフィカト
「今日キリストはお生まれになった」
クラウディオ・モンテヴェルディ作曲
Vespro ヴェスプロより
アヴェ・マリス・ステラ ほか

コルネット： 濱田芳通, 細川大介
サクソバット： 三宅伸哉, 首藤健一, 卷島俊明 ほか
ガンバ： 石川かおり
オルガン： 平山夏美
リコーダー： 岡村孝子, 菅野直子
ソプラノ： 久保田潤子, 川口聖加
アルト： 曾根嘉江子, 梶原春菜
テノール： 及川豊, 片野耕喜
バス： 石井賢, 渡辺求
合唱： 甲府コレギウム・アウレウム
指揮： 大内邦靖

平成27年 **12月18日(金)**

開演 18:00

コラニー文化ホール ロビー特設会場

鑑賞無料

主催 山梨大学芸術文化推進委員会

共催 アドブレン・共立・NTTファシリティーズ共同事業体

お問合せ コラニー文化ホール ☎055 (228) 9131

サン・マルコ大聖堂の建築様式から生まれた楽曲

複合唱様式は、サン・マルコ大聖堂の特異な建築様式から生まれました。向かい合った聖歌隊席の間で起こるディレイ効果に気づいた作曲家たちが、便利な特殊効果として用い始めたことが発端といわれています。このステレオ効果に人気があることが分かると、たちまち他の作曲家もその発想を模倣し始め、サン・マルコ大聖堂だけでなく、その他のイタリア中の大聖堂にも採用されました。発展のピークは、1580年代後半から1590年代、その頃の首席作曲家はジョヴァンニ・ガブリエーリでした。ガブリエーリは、強弱法の指定やエコー効果、音色効果の発展にも着手しました。

サン・マルコ大聖堂の壮麗でよく響く音楽は、この頃にヨーロッパ中に広まり、おびただしい数の演奏家がヴェネツィアを訪れ、同地の音楽を聴き、研究し吸収して学んだものを自国に持ち返ったのです。1603年以降には、通奏低音が加えられ、C.モンテヴェルディが楽長に就任し、それらを最大限に活かした作品を数多く作曲しました。